

EGOTAN通信

— 江古田小学校 研究だより —

令和元年5月17日
中野区立江古田小学校
研究推進委員会
第2号



EGOTAN

研究主題 認め合い、思いやりをもって生きる児童の育成
— 自他のよさを知ることを通して —



EGOTAN

第1回研究授業報告 ～4月24日(水)～

第6学年 道徳科「おばあちゃんのさがしもの」 授業者：和智 令子
講師：一般財団法人 教育調査研究所 研究部長 寺崎 千秋先生

【本時のねらい】

家族の人々を敬愛し、思いやりをもって接していこうとする心情を育てる。

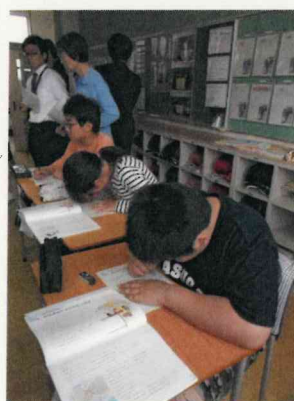
【授業のポイント】

本教材は、大好きなおばあちゃんにいろいろな症状が現れるようになって、「わたし」のおばあちゃんへの思いやりが深まっていく様子が描かれた話である。この教材を通して、自分の成長を願って愛情をもって育ててくれた祖父母をはじめ、高齢者へ尊敬や感謝を込めて、今の自分に何ができるのかを考えさせたい。

【授業の様子】



説話の様子



【児童の振り返り】

- ・おばあちゃんやおじいちゃんと一緒にいる時間を大切にしていきたい。
- ・おじいちゃんやおばあちゃんの気持ちを考えながら行動したい。
- ・変化があっても、いつもと同じように関わり、接していきたい。

【講師の寺崎先生より】

今回は、「家族愛」を取り上げた内容であった。しっとりとした、落ち着いてよい雰囲気の中授業が進められていた。「心情を育てる」という意味では、授業を通して、自分と対話したり、自分と向き合ったりしながら自分の考えをもつことができていた。また、最後の教師の説話では、心情移入している児童が多かった。

現在、高齢者への差別（身体的・精神的虐待など）が増えている。今回の授業では、高齢者理解はできていたが、今後は、高齢者問題の事例を挙げて、「差別を許さない」「絶対にしない」ということを学んでいく必要がある。高齢者問題に限らず、人権課題に関わる差別意識の解消を目指して指導にあたってほしい。

様々にご指導をいただきました。今回の研究授業を通して、より一層、授業力向上に努めていきます。